学校番号	３２０

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等学校保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分に合ったスポーツライフを考えてみよう。

２　学習の到達目標

・運動の合理的、計画的な実践を通して健康・安全に留意し、知識を深めるとともに運動の技能や体力を向上させ、運動の楽しさや喜びを味わう。
・運動を通じて、公正、協力、責任、参画、などに対する意欲を高め、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活でも生かせるよう育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	受講態度の観察 レポート 等	ノート レポート 体育理論テスト 等	技能観察 ノート 等	ノート レポート 体育理論テスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名 男子	単元名 女子	学習内容	主な評価の観点 a	主な評価の観点 b	主な評価の観点 c	主な評価の観点 d	単元(題材)の評価規準	評価方法
前期	陸上競技・テニス	バスケットボール・バドミントン	跳躍や投擲・テニス・バスケットボール・バドミントン等、技術の習得およびゲームの進行の仕方を学習する。	○	○	○	○	a:参加態度・協力体制に関して班別行動を通して評価する。 b:チーム力アップに繋がる練習方法を考え実践できているか又戦術も工夫できているか評価する。 c:各種目のスキルの達成ランクを決めて評価する。 d:ゲームの進行方法および記録の計測方法を理解しているか実践を通して評価する。	・受講態度の観察 ・グループ別勝敗 ・スキルテストの実施 ・記録の計測
	水泳	水泳	背泳の泳法を学習し記録を測定する。	○		○	○	a:自ら記録更新に努めているか又工夫しているか。 c:記録更新のためにスキルアップできたか。 d:水泳の安全面について理解できたか。	・受講態度の観察 ・記録の計測
	体つくり・集団演技	体つくり・集団演技	体つくり運動・集団行動・ダンス等、技術の習得と団体における技の発表の仕方を学習する。	○	○	○	○	a:参加態度・協力体制に関して評価する。 b:仲間との連携が取れているか。 c:各種ステップや集団演技における技が実践できているか。 d:技能を効果的に発表できるか安全面も含め考えているか。	・受講態度の観察 ・スキルテストの実施 ・発表態度の観察
後期	バドミントン・サッカー	バドミントン・アルティメット	生涯スポーツとして用具・器具・場所等の準備・段取り、安全点検等は勿論、準備運動・整理運動も含め自主的にゲームの運営ができるように学習する。	○	○	○	○	a:参加態度・協力体制に関して班別行動を通して評価する。 b:チーム力アップに繋がる練習方法を考え実践できているか又戦術も工夫できているか評価する。 c:各種目のスキルの達成ランクを決めて評価する。 d:ゲームの進行方法および記録の計測方法を理解しているか実践を通して評価する。	・受講態度の観察 ・グループ別勝敗 ・スキルテストの実施
	体育理論	体育理論	生涯ｽﾎﾟｰﾂの見方考え方 ﾗｲﾌｽﾀｲﾙに応じたｽﾎﾟｰﾂ 日本のｽﾎﾟｰﾂ振興 ｽﾎﾟｰﾂと環境	○	○		○	a:生涯ｽﾎﾟｰﾂの関わりや自分に合った設計のしかたについて工夫しているか評価する。 b:生涯ｽﾎﾟｰﾂの設定のしかたについて資料などを調べ実践しているか評価する。 d:生涯ｽﾎﾟｰﾂの設定のしかたについて基礎的な事項を理解しているか評価する。	・受講態度の観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。